

平成28年度

長期研修者研究抄録



鹿児島県総合教育センター

平成28年度長期研修研究主題一覧

番号	所属校	氏名	研究主題
	鹿児島市立清水小学校	野浦 知生	互いの思いや考えを分かりやすく 伝え合う力の育成を目指した ICT 活用 - タブレット端末の特性を生かした 学習指導の工夫を通して -
	日置市立鶴丸小学校	宮田 靖弘	社会的な見方や考え方の成長を実感できる 社会科学習の在り方 - よりよい社会生活につながる 学習過程の工夫を通して -
	南さつま市立万世小学校	榊 俊輔	自然との関わりを自ら広げる 児童を育成する理科学習指導の在り方 - 「学びを生かし、実感する」学習活動を重視して -
	出水市立西出水小学校	浦崎 なるみ	児童自らが「読む力」の高まりを実感する 国語科学習の在り方 - 「判断基準」を基にした 「言語活動のルーブリック」の活用を通して -
	伊佐市立大口小学校	下井田 智彦	数学的な思考力・表現力を高め、 算数を学ぶことのよさを実感できる学習指導の在り方 - 対話的な学びを位置付けた 第6学年の求積指導を通して -
	南大隅町立神山小学校	松崎 洋樹	「わかる」・「できる」をつなぎ、 動きの変容を実感する体育科学習の展開 - ボール運動における協働的な学び合いを 位置付けた学習指導を通して -
	鹿児島市立甲南中学校	吉永 あゆみ	外国語科における 自律的な学習者の育成を目指した学習指導 - CAN-DOリストの活用と 音声を重視した学習活動を通して -
	鹿児島県立伊集院高等学校	西山 公樹	積極的に英語で話そうとする 生徒を育てる授業の在り方 - 協働的な言語活動及び発問の工夫を通して -
	鹿児島県立国分高等学校	木下 景介	論理的な記述能力の向上を目指した学習指導の研究 - 文章読解と意見論述の関連付けによる 論理的な文章の「型」の活用を通して -
	鹿児島県立鹿屋養護学校	小薄 朝美	生活単元学習における 科学的な見方や考え方を育成する指導の在り方 - 知的障害のある生徒に対する 理科に関する指導を通して -

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
1	情報教育	野浦知生	鹿児島市立清水小学校	<p>互いの思いや考えを分かりやすく伝え合う力の育成を目指したICT活用</p> <p>- タブレット端末の特性を生かした学習指導の工夫を通して -</p>	<p>本研究は、児童の伝え合う力の育成に関わる一連の学習指導の中に、ICT活用を取り入れて実践研究したものである。</p> <p>この研究では、教科の目標を達成するとともに、伝え合う力を育成するため、単元の中に伝え合う活動を位置付け、更にその活動を充実させるために、タブレット端末を活用した。具体的には、伝え合う活動を「伝える活動」と「聴く活動」に分け、伝え合う活動を充実させるために、タブレット端末の特性に注目し、タブレット端末の特性がそれぞれの活動をどのように充実させるのか一覧表（対応表）にまとめるとともに、単元内に伝え合う活動を位置付け、1単位時間の伝え合う活動においてタブレット端末の特性を生かしながら、学習指導の工夫や授業構想を行った。</p> <p>その結果、タブレット端末の特性を生かした学習指導を工夫し、タブレット端末を活用することが、伝え合う活動の充実させ、伝え合う力の育成にとって効果的であることが分かった。</p>
2	社会	宮田靖弘	日置市立鶴丸小学校	<p>社会的な見方や考え方の成長を実感できる社会科学習の在り方</p> <p>- よりよい社会生活につながる学習過程の工夫を通して -</p>	<p>本研究は、社会的な見方や考え方の成長を実感できる社会科学習の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、各学年で身に付けさせたい「社会的な見方や考え方を成長させる指導計画」を作成し、小単元における「社会的な見方や考え方の構造図」及び「社会的な見方・考え方、社会生活に生かす『望ましい姿』の設定」を作成して、指導に当たった。それらを基に、切実感のある資料提示と学習問題づくりを行い、判断・提案・実践することを表現する場として設定した学習過程の工夫を行った。また、ウェビングや一枚ポートフォリオによる評価の工夫を通して、児童の社会的な見方や考え方の成長を見取り、それを実感できる社会科学習の在り方について、授業で検証した。</p> <p>その結果、児童は社会的な見方や考え方の成長を実感し、社会科で学習したことを社会生活に生かそうとする姿が見られ、成果としてまとめることができた。</p>
3	理科	榊俊輔	南さつま市立万世小学校	<p>自然との関わりを自ら広げる児童を育成する理科学習指導の在り方</p> <p>- 「学びを生かし、実感する」学習活動を重視して -</p>	<p>本研究は、自然との関わりを自ら広げる児童を育成するために、児童が学びを生かし、実感することのできる理科学習指導の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、「学びを生かし、実感する」学習活動を設定し、見通し、振り返りの充実を図った。特に、「目的を明確にした学習活動」、「理解の確認、定着を図る学習活動」を設定したことで、児童に目的意識をもたせたり、児童の理解状況を把握し、指導に生かしたりすることができた。また、見通しをもたせるために比較、関係付けの対象と観点を明確にすることや自己の高まりや改善点への気付きを促すための振り返りカードを活用することによって、問題解決への見通しをもたせるとともに、自己の知識・技能の高まりや解決方法を意識させることができた。</p> <p>その結果、生活の中で見られる自然の事物・現象への関心を高める児童の姿や問題解決を通して見いだした新たな問題を自ら解決しようとする児童の姿が見られた。</p>

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
4	国語	浦崎なるみ	出 水 市 立 西 出 水 小 学 校	<p>児童自らが「読む力」の高まりを実感する国語科学習の在り方</p> <p>- 「判断基準」を基にした「言語活動のルーブリック」の活用を通して -</p>	<p>本研究は、国語科の「読むこと」の学習において、児童自らが「読む力」の高まりを実感できる国語科学習の在り方として、単元にパフォーマンスを位置付けた単元構想の工夫と「判断基準」を基にした「言語活動のルーブリック」の活用を提案し、授業実践したものである。</p> <p>具体的には、「読むこと」の単元学習において、第二次の教材文の読みを通して身に付けた力を評価する「判断基準」を基に設定した「言語活動のルーブリック」を活用し、児童自らが単元の第三次や実生活の言語活動を通して自己の「読む力」を自覚することができる単元構想や評価の工夫の有効性を、授業実践を通して検証した。</p> <p>その結果、「言語活動のルーブリック」を活用することで、児童が言語活動を実現するための見通しや活動の振り返りの中で、自己の「読む力」を自覚したり、価値付けしたりする姿が見られ、単元構想や評価の工夫の有効性を明らかにすることができた。</p>
5	算数	下井田智彦	伊 佐 市 立 大 口 小 学 校	<p>数学的な思考力・表現力を高め、算数を学ぶことのよさを実感できる学習指導の在り方</p> <p>- 対話的な学びを位置付けた第6学年の求積指導を通して -</p>	<p>本研究は、算数を学ぶことのよさを実感できる児童の育成に向けて、対話的な学びを位置付けた学習指導の在り方について研究したものである。</p> <p>具体的には、まず、対話的な学びの意義を明らかにするとともに、その過程を、「構築」、「協働構築」、「再構築」とし、対話的な学びを行う児童の姿を整理した。次に、本校の実態を基に、対話的な学びの過程を位置付けた問題解決的な学習を通して、学習課題や対話的な学びの場、振り返りの場といった、対話的な学びを充実させるために効果的な指導法や学習形態の工夫に取り組んだ。</p> <p>その結果、児童は、自分の考えを広げ深めながら、数学的な思考力・表現力を高めていくとともに、算数の価値や算数を学習する意義に気付く姿が見られるようになった。</p> <p>このようなことから、次期学習指導要領の授業改善の視点の一つである対話的な学びを重視した授業を行うことは、児童に算数を学ぶことのよさを実感させる上で有効であることが分かった。</p>
6	体育	松崎洋樹	南 大 隅 町 立 神 山 小 学 校	<p>「わかる」・「できる」をつなぎ、動きの変容を実感する体育科学習の展開</p> <p>- ボール運動における協働的な学び合いを位置付けた学習指導を通して -</p>	<p>本研究は、ボール運動に焦点を当て、「『わかる』・『できる』をつなぎ、動きの変容を実感する体育科学習を展開」して、協働的な学び合いを位置付けた学習指導に関する研究を行ったものである。</p> <p>具体的には、まず、「わかる」・「できる」の関連性や実態調査を分析し、本研究における捉えや方向性を明らかにした。次に、ボール運動における協働的な学び合いにおいて、「3視点」と「思考・試行タイム」を取り入れた学習指導を研究し、「単元指導計画」や「授業モデル」の作成、「学び合いを活性化させる手立て」、「振り返りの工夫」等に取り組んだ。</p> <p>研究の結果、協働的に学び合う学習を通して、「わかる」と「できる」が有機的に関わり合い、動きの変容の高まりが見られ、実感へとつながっていくことを明らかにすることができた。</p>

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
7	外国語	吉永あゆみ	鹿児島市立甲南中学校	<p>外国語科における自律的な学習者の育成を目指した学習指導</p> <p>- CAN-DOリストの活用と音声を重視した学習活動を通して -</p>	<p>本研究は、自律的な学習者の在り方や、そのような生徒を育成するためにはどのような態度や能力を身に付けさせるべきなのかについて研究したものである。</p> <p>具体的には、自律的な学習者の姿とその指導方法を明らかにすることができた。</p> <p>検証授業においては、外国語の学習サイクルを確立させるために、CAN-DOリストを目標と振り返りの場面で活用することや、発達段階を考慮した動機付けを目的として、音声と文字の関係について意識させる指導と音読の工夫を行った。</p> <p>その結果、明確な目標をもつとともに、コミュニケーション場面での活用を通して新出の言語材料の意味や用法を自然に習得したり、音声と文字の関連の重要性に気付き、自分なりに工夫して学習を継続しようとする生徒の姿が見られるようになった。</p>
8	外国語	西山公樹	鹿児島県立伊集院高等学校	<p>積極的に英語で話そうとする生徒を育てる授業の在り方</p> <p>- 協働的な言語活動及び発問の工夫を通して -</p>	<p>本研究は、協働的な言語活動及び発問の工夫を通して積極的に英語で話そうとする生徒を育てる授業の在り方について研究を行ったものである。</p> <p>具体的には、協働的な言語活動を行うことにより生徒が英語で自分の意見や考えをやり取りする場面の設定を行った。また、発問を工夫し、テキストの内容を理解する発問だけでなく、自分の意見や考えを述べる発問をすることで、協働的な言語活動を活性化させ、理解した内容を基に自分の意見や考えを伝え合う授業を実践した。</p> <p>その結果、生徒に英語で伝え合う経験をさせ、英語で言いたいことを伝えられたという成功体験をもたせることができた。また、英語を好きになり、自ら自分の意見や考えを積極的に伝え合おうとする生徒の姿が見られるようになった。</p>
9	国語	木下景介	鹿児島県立国分高等学校	<p>論理的な記述能力の向上を目指した学習指導の研究</p> <p>- 文章読解と意見論述の関連付けによる論理的な文章の「型」の活用を通して -</p>	<p>本研究は、「論理的な記述能力の向上」を図るために、論理的な文章の「型」を通して文章読解と意見論述を関連付けた学習指導を実践研究したものである。</p> <p>具体的には、まず、論理的な文章の「型」の理解及び活用を図るための指導計画（学習過程）を構想した。次に、文章を要約する上で、文章構造を可視化することで文章読解と意見論述の関連付けを図り、文章読解によって身に付けた知識・技能を意見論述に活用させる学習を行った。さらに、論理的な記述能力の向上を図るために、文章の構成・展開を意識して論拠を明示することを指導した。</p> <p>その結果、論理的な文章の「型」を具体的に整理することができ、その「型」を活用することで、生徒が文章読解及び意見論述の方法を理解した。また、生徒の学習意欲が向上し、積極的に学習する姿が見られた。</p>

番号	教科等	氏名	勤務校	研究主題	研究内容
10	特別支援教育	小薄朝美	鹿児島県立鹿屋養護学校	<p>生活単元学習における科学的な見方や考え方を育成する指導の在り方</p> <p>- 知的障害のある生徒に対する理科に関する指導を通して -</p>	<p>本研究は、生活単元学習における科学的な見方や考え方を育成する指導の在り方を研究したものである。</p> <p>具体的には、単元「バケツ稲を育てよう」において、理科の段階的な内容例を作成し、理科の内容を明確にした具体的な活動の中で、科学的な見方や考え方を養うための教師の意図的な働き掛けを大切にして検証授業を行った。そこで、効果的な教師の働き掛けの在り方（思考を深める言葉掛け、学習活動の工夫、学習環境、教材・教具の工夫）をビデオ分析から明らかにし、検証した。</p> <p>その結果、生活単元学習において、科学的な見方や考え方を養うためには、具体的な活動や体験を通して、知的障害のある生徒の気づきを生み出し、生徒一人一人の気づきを意味付けたり価値付けたりして、その気づきをつなげ広げていく教師の意図的な働き掛けが有効であることが明らかになった。さらに、生徒の新たな気づきを生み出していくことが学びとなり、主体的な活動へつながっていくことが分かった。</p>